

2022

5.10 ● COILプログラム開始

……この日は関西大学・クレムソン大学の学生・教員の顔合わせがオンラインで行われました。4つのグループに分かれ、約3か月にわたりグループワークに取り組みます。翌月にはクレムソン大学の学生が来日し、本事業のメンバーが主宰する研究室を含め化学生命工学部化学・物質工学科の複数の研究室に分かれて研究活動を行います。



6.12 ● グリーンキャンパス開催

……グリーンキャンパスは久しぶりの対面開催となりました。来場者には教員から事業や研究テーマの概要などを説明しました。また、来場出来なかった方向けには、特設ウェブサイトなどで関大メディカルポリマー（KUMP）型AO入試を動画で紹介しました。



7.1 ● 成果報告書を公開

……本事業の2021年度の成果をまとめた報告書を特設サイトで公開しました。

7.21-22 ● COILプログラム最終発表

……1日目はグループワークの最終発表会が開催され、2日目には、クレムソン大学の学生が、関西大学で約2か月間研究活動をして得た知見を個別に発表しました。両日とも質疑応答は大変活発で、大変充実したプログラムであったことが伺えました。



7.27-8.9 ● 理工学研究科の集中講義「M特殊講義（関大メディカルポリマー）」を開講

……関西大学と大阪医科薬科大学の教員が担当し、材料化学、機械工学、医療現場それぞれの立場から医工連携に係る話題を提供しました。履修生は、15回の講義を通じて専門分野以外の学問への関心も高まり、学びの多い内容であったことが伺えます。



8.1-2 ● サマーキャンパス開催

……今年度は、事前予約制ではあるものの3年ぶりに2日間にわたって対面形式で開催されました。本事業は展示・相談コーナーの出展と模擬講義を行いました。来場者には、人工血管や生分解性の高分子材料などを用いて関大で学べる内容を説明しました。



9.2 ● 本学高大連携センター主催の模擬講義「関大の知にふれる」で高校生に話題提供

……関西大学千里山キャンパスにおいて、本学高大連携センター主催で模擬講義「関大の知にふれる」が開催され、本事業の研究代表者が関大メディカルポリマー（KUMP）の講義を提供しました。関西大学北陽高等学校の高校生を対象としたこの講義では、本事業の研究者らが取り組む関西大学の医用器材の研究紹介があり、参加した高校生は熱心に耳を傾けていました。



10.18-20 ● 第12回CSJ化学フェスタで、宮田隆志教授（化学生命工学部）がテーマ企画「人生は自分で切り開くぞ！博士取得後のキャリアプラン」の中で講演

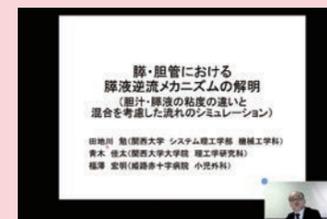
11.15-16 ● 第31回ポリマー材料フォーラムで、大矢裕一教授（関大メディカルポリマー研究センター長）が「生分解性スマートバイオマテリアルの設計と医療応用」を講演（招待）

11.22 ● 第44回日本バイオマテリアル学会で、岩崎泰彦教授（化学生命工学部）が教育講演に登壇

12.5 ● 大阪医科薬科大学で、大矢裕一教授が特別講義を実施
……本事業の研究代表者が、大阪医科薬科大学大学院医学研究科の必修科目「統合講義」を履修する大学院生や関係者らを対象に特別講義を実施しました。

2023

1.27 ● 関大メディカルポリマーシンポジウムを開催



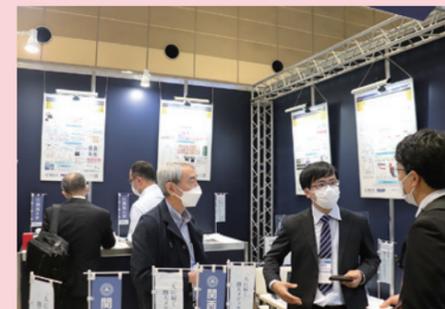
2.15-17 ● 理工学研究科修士論文発表会を開催
……理工学研究科の修士論文発表会が行われました。本事業の研究に携わった大学院生も含め多数の研究成果を発表し、盛会に終わりました。



2.25 ● 田村裕教授（化学生命工学部）が最終講義を実施

3.8-3.10 ● 第3回ファーマラボEXPO[大阪]内第3回アカデミックフォーラムと、第9回再生医療EXPO[大阪]に出展

……インテックス大阪で開催された展示会に出展しました。第3回ファーマラボEXPO[大阪]内で開催された第3回アカデミックフォーラムでは、奥野陽太助教授（化学生命工学部）が本学のペプチド研究をブース及びセミナーにて紹介しました。また、同時開催された第9回再生医療EXPO[大阪]にもブースを出展し、大矢裕一教授、柿木佐知朗教授、平野義明教授、宮田隆志教授（いずれも化学生命工学部）の個別のペプチド研究シーズを紹介しました。アカデミックフォーラムのブース訪問者を再生医療EXPOのブースへ案内したこともあり、企業や研究機関、商社などの多くの関係者が訪れました。



3.26 ● 「フレッシュキャンパス in 千里山」にブース出展（予定）